

XC
■■■ 中田診療所からのお知らせ ■■■

- 横浜市带状疱疹ワクチン接種(対象年齢あり)
期間:2026年3月31日まで
生ワクチン 4,000円
組換えワクチン 1回 10,000円(計2回)(非課税世帯等は免除制度あり)
- 横浜市新型コロナウイルスワクチン(65歳以上)
期間: 2026年2月28日まで
費用: 7,000円(非課税世帯等は免除制度あり)
- 横浜市高齢者インフルエンザ予防接種(65歳以上)
期間: 2025年12月31日まで
費用: 2,300円(非課税世帯等は免除制度あり)

● 診療所のために長年ご尽力を頂きました加藤敏平先生が10月23日ご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

●2026年度 年末年始 休診日のご案内
期間: 2025年12月29日(月)~2026年1月4日(日)まで

診療体制表 2025年12月						
	月	火	水	木	金	土
午前の部 9:00 ~ 12:00	森 一般内科/血液	森 一般内科/血液	森 一般内科/血液	森 一般内科/血液	石橋 一般内科/呼吸器	第1・3週 河合 一般内科/呼吸器
			石橋 予約/呼吸器	富田 一般内科/循環器	近藤 予約/糖尿外来	第2・4・5週 森 一般内科/血液
午後の部 13:30 ~ 16:30	森 一般内科/血液	第1・2・3週 森 一般内科/血液	第1・3週 往診	森 一般内科/血液	河合 一般内科/呼吸器	診療を行っていません
		第4・5週 休診	休診	第1・3週14:00~ 整形外科		



医療生協かながわ生活協同組合
中田診療所だより

2025年12月1日発行

発行 医療生協かながわ生活協同組合中田診療所 2025年
〒245-0013 横浜市泉区中田東3丁目3番27号
電話 045-802-2840 FAX045-803-0716
12月号

新型コロナウイルス感染症の動向

9月に映画「フロントライン」を鑑賞しました。映画は2020年2月に乗客乗員3711人の豪華客船が横浜港に入港しました。映画はこの中の100人が新型コロナ感染症に感染し、この時出勤要請を受けた災害派遣医療チームDMAT(デーマツト)の奮闘を描いたものです。あの頃は新型コロナウイルスは未知であり不安の中で毎日テレビを見ていたものです。最後の受け入れは藤田医科大学病院であった事を初めて知りました。10月に主演の小栗旬が藤田医科大学に出向きお礼を述べていることが放映されていました。

●新型コロナの今:インフルエンザとの比較データ

コロナ感染は2024年5月8日に第2類から5類に分類され定点把握となりました。新型コロナ感染と診断されても驚かなくなってきました。しかしまだまだ新型コロナ感染は常時発生し重症化することもあります。当診療所では発熱外来で診察していますが今年と昨年の発生状況の動向を報告します。同時にインフルエンザ感染との比較もしました。診断は新型コロナ、インフルエンザとも抗原検査で行われています。

図1:新型コロナ感染: (2024年11月から2025年10月)



総計181人で去年よりは減少しています。8月が一番多く次いで12月の23名、4月から6月までは5人以下で、他の月は11人から38人でした。男性86人、女性95人で、年齢は19歳以下4人、20~29歳19名、30~39歳23名、40~49名20人、50~59歳36人、

60～69歳 14人、70～79歳 36人、80～89歳 22人、90～99歳 6人、100歳以上 1人でした。20～89歳間はほぼ同頻度の発生です。会社、施設、家族など感染者が周りにはいる人は47人でした。夏に多かった理由は喉がカミソリを飲み込んだような強烈痛みがある新型コロナ変異株「NB.1・8・1」通称ニンバスが増えたこと、暑さにより窓を閉めきってエアコンをつけるシーンが増え屋内で感染が広がりやすいこと、帰省や旅行夏祭りで移動や人が集まりやすい事が挙げられます。当診療所では喉の強い痛みのある人はいませんでした。



図2 新型コロナ感染(2023年11月～2024年10月)

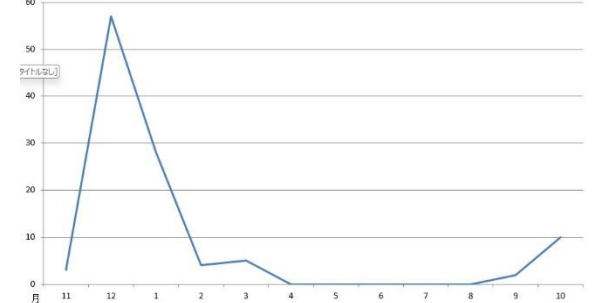


図3 インフルエンザ感染(2024年11月～2025年10月)

図2: 新型コロナ感染(2023年11月～2024年10月)
 総計 294 人で1月から42人一番多く、他は11月4人を除き他月は10人以上です。

図3:インフルエンザ感染(2024年11月～2025年10月)
 総計 94 人で10月は4人と少ないのですが11月に入り急に増え11月19日現在 25人で去年よりピークが1か月早いようです。



図4:インフルエンザ感染症(2023年11月～2024年10月)

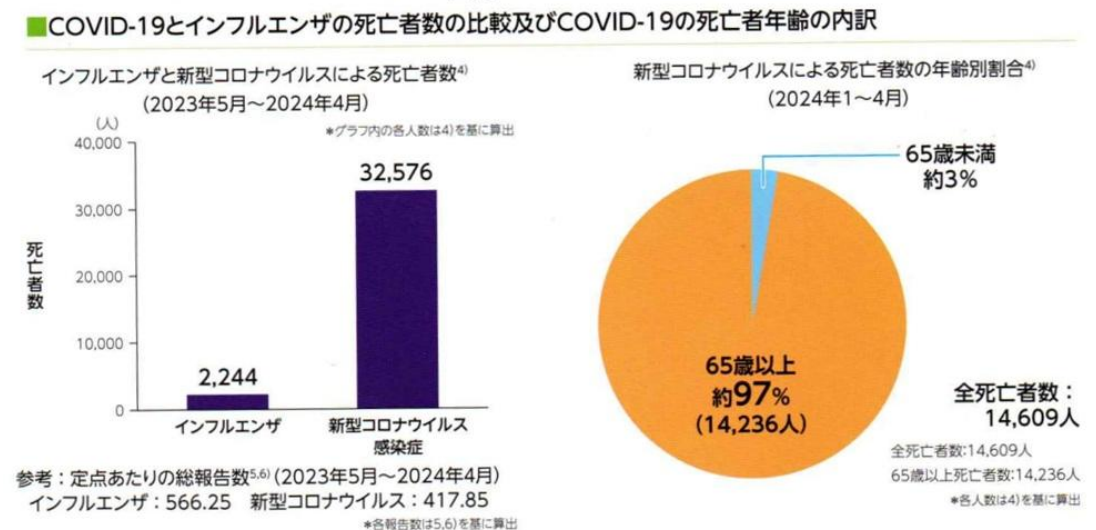
図4:インフルエンザ感染症(2023年11月～2024年10月)
 総計 120 人で11月から20人と増え12月21人、1月46人と一番多い月でした

●コロナ感染死者数、変異株、ワクチン

2024年6月厚生労働省の人口動態統計では、2020年以降コロナによる累計死者数が10万にを超えたことを報告しています。2020年は3466人、病原性が高いデ

ルタ型は猛威を2021年は16766人、オミクロン型の流行で感染者が急増した2022年は47638人、2023年は38086人、2024年は35865人でした。2024年の死因別では全体のがんは24.3%と多く、心疾患(高血圧を除く)、老衰12.1%と続き、新型コロナ感染は第8位です。2023年5月～2024年4月までのインフルエンザ感染死亡数は2244人、新型コロナ感染は32576人で、2024年1月～4月までの死亡者患者の診療の年齢別65歳以上は14236人(約97%)です(図5)。

図5



コミナティ pfizer 2025年2月作成

今年11月の朝日新聞で日本ワクチン学会理事長の中野理事長が新型コロナワクチンについて述べています。流行の中心であったオミクロン株「JN.1」に対応したワクチンを接種した60歳以上の人の入院予防効果は63.2%で、重症予防効果みられることが推定され、またコロナ後遺症発生を下げることを述べています。今シーズン発生した変異株「NB.1・8・1」にも現在のワクチン効果が期待できるそうです。海外の研究でオミクロン株に1度感染しても6か月以上過ぎると再感染のリスクが増えるそうです。11月に行われた 聖マリアンナ医大感染症講座の國島広之先生による講演「感染症に関する最近話題」でワクチン感染予防効果は30～54%、死亡予防効果は64%、入院予防効果は45～72%あるということです。65歳以上のワクチン効果は1年でやはりワクチンを勧めています。

● 来年も新型コロナ感染予防はワクチン、手洗い、マスク、換気です。

森 啓